



文化庁「九州・沖縄から文化力プロジェクト」参加事業

小山大作先生追悼演奏会

フィルハーモニックオーケストラ・長崎 第18回定期



2018年6月24日(日)
とぎつカナリーホール

主催／フィルハーモニックオーケストラ・長崎

後援／長崎県 長崎市 時津町 長崎新聞社 朝日新聞社

西日本新聞社 読売新聞西部本社 毎日新聞社

NHK長崎放送局 NBC長崎放送 KTNテレビ長崎

NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ エフエム長崎

長崎ケーブルメディア 長崎市民エフエム 長崎県音楽連盟

西そのぎ商工会

プログラム

Program

指揮 末廣 誠

Maoto Suehiro, Conductor

オーボエ 西川 千穂*

Chiho Nishikawa, Oboist

酒井健吉

Kenkichi Sakai

小山大作先生に捧ぐ

「オーボエと管絃楽の為の協奏的頌歌」*(初演)

a Maestro Daisaku Koyama

„Ode Concertante per Oboe ed Orchestrasinfonica”- Premiere

ヨハネス・ブラームス

Johannes Brahms

交響曲第3番へ長調作品90

Sinfonie Nr.3 in F-dur, op.90

Allegro con brio

第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ

Andante

第2楽章 アンダンテ

Poco allegretto

第3楽章 ポコ・アレグレット

Allegro - Un poco sostenuto

第4楽章 アレグローウン・ポコ・ソステヌート

～ ～ ～ 休憩 ～ ～ ～

Intermission

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven

交響曲第3番変ホ長調作品55《英雄》

Sinfonie Nr.3 in Es-dur, op.55 „Eroica“

Allegro con brio

第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ

Marcia funebre: Adagio assai

第2楽章 葬送行進曲：アダージョ・アッサイ

Scherzo: Allegro vivace

第3楽章 スケルツォ：アレグロ・ヴィヴァーチェ

Finale: Allegro molto

第4楽章 終曲：アレグロ・モルト

プロフィール

■故 小山大作氏 KOYAMA Daisaku



長崎市の出身。片渕中学校のブラスバンドでを経て県立長崎南高校に進学。中学時代の恩師が小山氏の才能を見抜いて、お父様を説き伏せ、小澤征爾ほか数々の名演奏家を輩出している桐朋学園大学音楽科への進学を後押しされたそうです。桐朋学園大学ではファゴットを中川良平氏（サンフランシスコ響）に、室内楽とオーケストラスタディを中川良平、カール・ライスター（ベルリンフィル）両氏に師事。指揮を高階正光氏に師事。シャーマン・ウォルト氏（ボストン響）やレオナルド・シャロー（NBC響）氏等のレッスンを受け研鑽を積み重ねました。在学中よりプロ活動を始め、85年西日本新人演奏会出演、86年マーフィー木管五重奏団メンバー。89年からは小澤征爾率いるサイトウキネン・オーケストラのメンバーに抜擢され、2回のザルツブルグ音楽祭やカーネギーホール公演を含む世界各地での演奏旅行に参加。「天覧公演」として有名な92年9月松本市での演奏会にも出演。91年には國學院大学管弦楽団と渡邊一正の指揮でウェーバーのファゴット協奏曲へ長調を共演しソリストとしてもデビュー。96年にはソロ・リサイタルを開く。97年には「東京バッハバンド」でバリトンサックス奏者としてもデビュー。お父様のご病気等のため帰郷し、05年-09年、OMURA室内合奏団ファゴット奏者として活躍。一方、指揮者としては、94-96年國學院大学OBオーケストラ、02-03年立正大学管弦楽団の指揮者として活動。06年6月のフィルハーモニックオーケストラ・長崎の創設に関わり、同年11月のデビューコンサートにて、ブラームス交響曲第1番ハ短調などを熱演し万雷の拍手を浴びました。その後、同団の第2回を除く全ての定期演奏会、10周年演奏会、ちゃんぼんマチネー/ソアレーなどを指揮し、聴衆に届く演奏、ともに感動・喜びを分かち合える演奏に努めてこられました。昨年7月、末期の膵臓がんが見つかり、8月下旬には抗がん剤を打ちながらの練習、そして9月、最後の演奏会となりました。亡くなる4日前にも次回の演奏会に向けて練習の指揮を執られ、文字通り最後の最後まで理想の音楽を伝えることに邁進されました。その姿は、小澤征爾の師である桐朋学園大の創設者の一人、齋藤秀雄先生の最後の演奏と重なるものがあります。2017年11月15日没。享年59歳。当団は、小山氏の遺徳を偲び、第18回定期演奏会を「小山大作先生追悼演奏会」として開催することにいたしました。指揮は、氏の同窓・同期で親友の末廣誠氏に託されました。

■末廣 誠 SUEHIRO Makoto（指揮）



鹿児島県生まれ。鹿児島大学卒業及び桐朋学園大学修了。指揮を秋山和慶、堤俊作、H. レーグナー各氏に師事。1981年、鹿児島オペラ協会10周年記念公演において、石井敏作曲オペラ『カントミ』の初演を指揮、1987年銀座にオープンした銀座セゾン劇場の柿落としにおいて、M. コンスタン作曲、P. ブルック演出の『カルメンの悲劇』を50日間に渡り指揮し、世界各国から招かれた歌手や、コンスタン氏自身より絶賛される。1989年、東京青山劇場においてR. コルサコフ作曲オペラ『サルタン王の物語』日本初演の訳詞及び指揮を担当し、高い評価を受ける。以後各地のオペラ公演を多く手がけ、数多い作品のレパートリーを誇っている。またバレエ公演も手がけ日本初演した作品も多く、舞台作品における技量は各界から厚い信頼を得ている。1990年ハンガリー・ニーレッシュハーザ市においてサボルチ交響楽団を指揮、同年旧東ドイツ・ワイマール市で開催された国際セミナーに参加。H. レーグナー氏のもとで研鑽を積み、最終コンサートにおいてイエナー・フィルハーモニー管弦楽団を指揮、チューリンガー・アルゲマイネ紙に“真にプロフェッショナルな指揮者”と絶賛される。1991年、ポーランド・カトヴィツェ市で開催された第4回フィッテルベルク国際指揮者コンクールにおいて優勝、第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞する。翌年より、ポーランド国立放送交響楽団をはじめとする各地のオーケストラに招かれ、クラコフ放送交響楽団の首席客演指揮者に就任。また国立シレジア歌劇場において『トスカ』を指揮してヨーロッパにおけるオペラデビューを果たし、以後定期客演指揮者として多くの作品を指揮し、常に高い評価を得ている。1999年、ジャズピアノの巨匠チック・コリア氏と共演、同氏より絶大な信頼を寄せられる。

帰国後、群馬交響楽団指揮者を経て、1995年から1999年まで札幌交響楽団指揮者を務め、以後多岐に渡る活動を続けている。高いレベルの演奏を引き出す着実な手腕は、常に信頼と評価を得ており、今後の活動が期待されている。また、曲目解説等の執筆活動も盛んに行っており、その軽妙な切り口の文章は評判を得る一方、演奏会の司会、企画等にもその才能は遺憾なく発揮されている。2007年12月、レッスンの友社よりエッセー「マエストロ・ベンのお茶にしませんか？」を刊行。

■西川 千穂 NISHIKAWA Chiho（オーボエ）

長崎市出身。5歳よりピアノを、15歳よりオーボエを始める。長崎県立長崎北高等学校卒業。長崎大学教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース音楽選修卒業。第47回北九州芸術祭クラシックコンクールにおいて奨励賞、第39回長崎県新人演奏会において酒井健吉作品「オーボエとピアノの爲のソナタ」を演奏し準グランプリを受賞。第59回西日本国際音楽コンクール出演。同年ボストン交響楽団準首席奏者、若尾圭介氏主催のサマーキャンプに参加。他にもベルリンフィルハーモニー交響楽団元首席奏者であるハンス・エルク・シェレンベルガー氏、モーリス・ブルグ氏のマスタークラスを受講。これまでにピアノを中村和代、有馬史、オーボエを大倉安幸、徳山奈美各氏に師事。現在、アンサンブルやソロ演奏活動を行っており、アルカスSAEBOジュニアオーケストラ、長崎市立西浦上小学校ホープバンド、にしかわ音楽教室にて後進の指導にもあたっている。



本日のオーケストラ

■フィルハーモニックオーケストラ・長崎(管弦楽) Philharmonic Orchestra NAGASAKI 略称:PON

「音楽の素晴らしさを聴衆・団員で分かちあおう」を合い言葉に、2006年6月、長崎2つ目の市民オケとして誕生。元サイトウキネン・オーケストラの小山大作の指導の下、アンサンブルの重視、既成概念に捉われない選曲や構成で、新しいサウンドの創出を目指してきた。これまでに2回のニューイヤーコンサートを含む17回の定期演奏会と熊本地震復興支援コンサートを開催、ブラームス交響曲第1・第2・第4番・ヴァイオリン協奏曲、ドヴォルザーク交響曲第8・第9番「新世界より」、ストラヴィンスキー「火の鳥」、ショスタコーヴィチ「革命」、モーツァルト交響曲第40・第41番・ピアノ協奏曲第23番・クラリネット協奏曲・ヴァイオリン協奏曲第5番、ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲、ベートーヴェン交響曲「英雄」・第5番(運命)・第6番「田園」・第7番・ピアノ協奏曲第5番(皇帝)、チャイコフスキー交響曲第4・第5・第6番「悲愴」・ヴァイオリン協奏曲・ピアノ協奏曲第1番・弦楽セレナード、リムスキー=コルサコフ「シェヘラザード」「スペイン奇想曲」、ラロの「スペイン交響曲」、フンメルのトランペット協奏曲、バッハの2つのヴァイオリンのための協奏曲、ロドリゴの「アランフェス協奏曲」などに加え、管・弦・打楽器のアンサンブル、さらには若手作曲家、酒井健吉の「祈る女」「ヤカテカラ協奏曲」など初演作品なども果敢に取り上げている。また、ちゃんぽんマチネー/ソアレーでは、室内楽小品を演奏。小編成からフルオーケストラまで、バロックや古典派の名曲から現代曲までと、幅広く斬新な選曲や熱気あふれる演奏スタイルで聴衆を魅了している。アマチュアとプロ奏者の混成(ハイブリッド)での演奏に、お客様の満足度は高い。



指揮

末 廣 誠

コンサートマスター

中 原 大 幾

1st ヴァイオリン

榎 日 向
柴 田 恵 奈
竹 森 広 大
野 口 明 子
野 澤 佳穂子
福 田 ちさと
前 田 純美加
山 田 風 雅

2nd ヴァイオリン

大 槻 文 香
小久江 利 光
齊 藤 享
多 賀 美 紀
鶴 田 明 子
野 口 友 江
野 口 誠
松 嶋 沙野佳
山 口 彩 乃

ヴィオラ

大 津 元 起
滝 口 彩 未
寺 田 篤 史
長 嶋 拓 生
山 本 賢
山 本 瑞 穂

チェロ

井 上 貴 恵
川 島 竜 郎
田 辺 清 土
直 塚 真理子
永 留 加奈子
山 口 哲 平

コントラバス

古 賀 恵
瀬 尾 照 明
福 田 一 毅
山 口 桂 一郎

フルート/ピッコロ

島 田 睦 子
藤 井 彩 子

オーボエ

大 塚 英 樹
下 田 梢
西 川 千 穂

クラリネット

齊 藤 淳 哉
福 田 憲 弘

ファゴット

池 田 祐 希
柴 田 義 浩

コントラファゴット

種 口 敬 明

ホルン

佐 藤 雅 秋
末 岡 理
竹 内 直 樹
丸 尾 佳菜子
村 川 佳奈子

トランペット

有 吉 佳代子
田 中 拓 人

トロンボーン

永 淵 恵 子
藤 井 伸 武

バス・トロンボーン

矢 野 達 也

テューバ

平 井 栄 一

ティンパニ/

パーカッション

奥 田 智 恵
柴 田 昌 知
福 田 祥 一

練習指揮

高 田 浩 一



IZUTA VIOLIN



イズタ・バイオリン
〒810-0041
福岡市中央区大名2-9-29
第2プリンスビル 1F

TEL: 092-713-7536
FAX: 092-713-7904
<http://www.izuta-violin.co.jp/>
info@izuta-violin.co.jp

OPEN 10:00 CLOSE 18:30
定休日: 毎週木曜日
(祝日の場合は営業致します。)

プログラム・ノート

小山大作先生に捧ぐ「オーボエと管絃楽の為の協奏的頌歌」

酒井健吉

a Maestro Daisaku Koyama „Ode Concertante per Oboe ed Orchestrasinfonica“ Kenichi Sakai (1980-)

此の作品は昨年の11月に逝去されたファゴット奏者で指揮者の小山大作先生の魂に捧げる音楽として作曲しました。小山先生は長崎におきまして私の作品の初演を沢山指揮して下さいました。また、私の音楽を理解して下さいる数少ない音楽家の一人でした。最後に小山先生にお目にかかった際に最近の作品をお見せしようと思い特殊な編成の小さなピアノ協奏曲のスコアを持参していきましました。面白いと言って下さり、次の日に小山邸を訪問された客人に全頁解説しながらスコアをみせて「今度これを覚えなければいけないんだよ。」と楽しそうに話されていたそうです。もし、ご存命であったならば今日そのピアノ協奏曲が演奏されていたかもしれません。しかし、それは叶わなくなりました。昨年の11月中旬以降、虚脱状態の中でやはり小山先生に捧げる新たな音楽を書かなければと言う想念にとらわれて作曲したのが今回の作品であります。



本日お聴きいただきますのは、いわゆる現代音楽、12音音楽、あるいは無調の音楽と呼ばれている不協和音の音楽です。普段の生活ではあまり耳にしない音楽ではないでしょうか。私は今日の様な大変大きな楽器編成で、しかも長崎と云う土地で、この様な現代音楽の表現をする事にためらいを感じていました。そんな私を勇気づけてくれたのも、やはり小山先生でした。「無調の音楽ほどロマンチックなものは無いんだよ。」と仰っていましたし、「現代の作曲家は無調が本分なのだろうからから、書きたいように書いたら良い。ウチのオケはみんな上手いから大丈夫。」とも仰っていました。小山先生の為に、フィル長の

為に、心からの音楽を作ろうとすると、やはり無調と云う事になってしまうのです。結果として市民樂團にはあるまじき未曾有の難易度となってしまうました。今回の作品は小山大作先生のお名前から独自に音列を導き出しています。それが作品の核となり、音楽が紡がれてゆきます。私は作曲するにあたってレクイエムのような作品にはしたくありませんでした。小山先生のお名前を作品に刻み込み、その教えを胸に皆が次へ向かう為の音楽としたかったからです。曲を脱稿して、リハーサルを聴く機会がありました。客観的に聴いてみて、私の脳裏に岩戸神楽がよぎりました。その神楽は岩戸に隠れた天照の光を取り戻す為の音楽。リハーサルはその様な演奏に聴こえました。さしずめソロオーボエはアメノウズメでしょうか。

此の作品でオーボエのソロを吹く西川千穂女史は小山先生から大変評価された演奏家で、私の現代音楽作品も数多く初演して下さいています。今日も素晴らしい演奏を聴かせてくれることでしょう今回の大変な作品に取り組んでいただいた楽員の皆様と指揮者の末廣誠先生に感謝の意を表したいと思います。そして、新しい音楽作品が生まれる瞬間を皆様と一緒できる事を嬉しく思います。

交響曲第3番へ長調作品90

ヨハネス・ブラームス

Sinfonie Nr.3 in F-dur, op.90

Johannes Brahms (1833-1897)



ブラームスは交響曲を4曲しか書いていませんが、第3番は他の3曲より少しだけ上演機会が少ないようです。理由は、アマチュアにとっては纏めるのが難しいとか、全ての楽章が静かに終わるので強烈な印象が残りにくいとか、知名度ももう一つだから集客の目玉にはならない…などと言われます。1877年に交響曲第2番を作曲したあと、ヴァイオリン協奏曲、大学祝典序曲、悲劇的序曲、ピアノ協奏曲第2番といった名作を立て続けに書いたブラームスは、1883年、温泉地ヴィースバーデンに滞在し、第3交響曲を作曲しました。余談ですが、当時50歳のブラームスは24歳年下のアルト歌手ヘルミーネ・シュピースに恋心を抱いていたようで、結婚するのではとの噂も流れていたそうです。噂だけに終わりました。第1楽章F(ファ)ーAs(ラ♭)ーF(ファ)というモットーですが、ブラームスが好んだという“Frei aber froh”（自由だが喜ばしく）という言葉の頭文字と言われていいます。曲の完成後、2台のピアノで仲間内での試演をしたところ、初演の指揮

をすることになったハンス・リヒターが「英雄交響曲だ」と言ったことから、一部では「ブラームスの英雄交響曲」とも言われますが、この言い方は広まりませんでした。ブラームス自身もそのような標題性は持たせてい

ないようです。クララ・シューマンはこの曲をブラームスの交響曲の中で最も芸術的完成度の高いものとベタ褒めしています。ちょっと通好みの曲かもしれません。

同年12月のウィーン・フィルによる初演は大成功であったが、当時は、ブラームス派とワーグナー派が対立していて、親ブラームス派のハンスリックは「芸術的に完璧な作品として心を打つ」と絶賛する一方、ワーグナー派のフーゴ・ヴォルフは「全く独創性が欠けた、できそこないの作品である」と批評したそうです。皆さんはどう感じられるでしょうか。

第3楽章はロマンチックで、フランソワーズ・サガンの「ブラームスはお好き」を原作にした映画「さよならをもう一度」(1961年米仏。イングリッド・バーグマン、イヴ・モンタン、アンソニー・パーキンスなど出演)に使われている。最近では、平原綾香の2011年のアルバム「my Classics 3」に「ブラームスの恋」との題で歌詞が付けられて歌われている。



交響曲第3番変ホ長調作品55「英雄」 *Sinfonie Nr.3 in Es-dur, op.55 „Eroica“*

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
Ludwig van Beethoven (1770-1827)



それまでのハイドンやモーツァルトの時代の交響曲の概念を吹き飛ばしてしまった、音楽史上一つの革命のような存在の曲です。それまでの交響曲の倍ぐらい時間が長い、優美なメヌエットは気忙しいスケルツォにとって代われ、不協和音はバンバン出てくるわ、オフビートのアクセントの連続…ようするに反則技のオンパレードです。聴衆は、きっと驚いたに違いないでしょうね、当時としては「前衛」音楽だったことでしょう。ベートーヴェンは、20歳台前半にはウィーンでピアノの名手として名前が知られるようになっていましたが、次第に耳が聞こえなくなり、一時は自殺を考えました。1802年には甥と弟に当てた手紙を書いています。死後見つかったもので「ハイリゲンシュタットの遺書」と呼ばれていますが、「僕はほとんど絶望し、もう少しのところで自殺するところだった。ただ、彼女が一芸術が一僕を引き止めてくれた。僕には自

分に課せられていると感じられる創造を、全てやり遂げずにこの世を去る事は出来ないと考えた。」とあるように、「遺書」という訳は正しくなく、むしろ、作曲をすることで自分の苦悩と向き合い、再び生きる力を得ることができた…という宣言みたいなものです。そして、その宣言の通り、苦境を乗り越えて1804年に生まれた作品が第3交響曲「英雄」です。当時、ナポレオンの共和主義的な行動にも賛同していたベートーヴェンは彼を一つのモデルとして考えていたのですが、ナポレオンが自ら皇帝の座に就いたと聞かや、表紙の「ボナパルトに捧げる」と書いていた部分をかき消して「ある英雄の思い出のために」と書き直しています。ベートーヴェンの言う「英雄」とは、誰か一人を指しているとうよりも、もっと普遍的な意味合いがありそうですね。表紙を破り捨てたという話は弟子のシンドラの創作のようで、ウィーン楽友協会には、上記の書き直された総譜の表紙が所蔵されています。





市民ミュージカル

赤い花の記憶 天主堂物語

2018年7月21日(土) 長崎ブリックホール 大ホール

昼 14時開演(13時30分開場) 夜 18時30分開演(18時開場) ※観客動員率75%以上の場合、夜公演は19時開演となります。

全席自由 | 入場料 = 大人2,000円 小中高生1,000円 親子2,500円 ※1名あたり1席まで

主催 = ミュージカル「赤い花の記憶 天主堂物語」実行委員会 特別協賛 

お問い合わせ = 電話 095-895-7648 <http://www.akaihananokioku.nagasaki.jp>

ファイナル公演です。お見逃しなく！



産科 婦人科 小児科 内科
医療法人

三浦産婦人科

TEL 095-882-7000 (代)

長崎県西彼杵郡時津町野田郷25-1



精神科・神経科・心療内科・内科・歯科・皮膚科

道ノ尾病院

- 心の健康相談●精神科デイケア
 - 精神科デイナイトケア●精神科作業療法
- 理事長 松本 純隆 院長 松本 一隆

長崎市虹が丘町1-1
県立長崎工業高校うえ
☎095(856)1111

救急病院

医療法人 厚生会

虹が丘病院

長崎市虹が丘町1番1号(道ノ尾病院となり)
☎(095)856-1112

循環器科 内科 消化器科 呼吸器科 神経内科
皮膚科 放射線科 心血管外科 外科 肛門科
整形外科 リハビリテーション科(理学療法・作業療法)
リウマチ科

医療法人橘会 本多眼科

〒850-0037 長崎県長崎市金屋町2-10平田ビル



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00-13:00	●	●	12:30 まで	●	●	●	△
午後2:30-6:00	●	●	手 術 予約外来	●	●	△	△

TEL. 095-820-2333 FAX. 095-820-2334

<http://ww5.enjoy.ne.jp/~honda5255/> 本多眼科 長崎市

おおみや小児科

院長 大宮 朗

長崎市上野町2-1 TEL (095) 847-6555

カトリックセンター前バス停・信愛幼稚園向い側

ゆううつ・不安・ストレス・物忘れなどの心の健康相談

心療内科・神経科・精神科

西浜町電停前銅座郵便局 4 F

すがさきクリニック

院長 菅崎弘之

■月・木・金 9:00~18:00

火・水 9:00~20:00

土 9:00~13:00

TEL 095-820-1162 (予約制) ■休診日 第2・4土曜日、日祝日

三島内科
通所リハビリテーション

TEL(直通):895-9101



三島内科医院
長崎市上戸町2-8-16

心療内科・精神科

みちクリニック

市役所前バス停すぐ・桜町ビル4階

☎ 095-818-2300

〈電話予約制〉



医療法人清潮会

<http://www.sanwa.or.jp>

理事長 塚崎 寛

〒851-0403 長崎市布巻町165番地1 TEL:095-892-8191

●三和中央病院

TEL:095-898-7511

●さんクリニック(新地町8-16)

TEL:095-895-8160

●グループホームハートハウスさんわ(布巻町72-1)

TEL:095-892-8780

●グループホームほたる(布巻町624-1)

TEL:095-895-5550

●訪問看護ステーションあんしん

TEL:095-893-8633

●介護老人保健施設みどりの里

TEL:095-892-8888

・通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション・通所介護

●居宅介護支援事業所さんわケアセンター

TEL:095-833-7088

●サービス付高齢者向け住宅ユキスくら並木

(布巻町184-11)

TEL:095-892-8822

メッセージ

小山くんを偲んで

大作くんと直接会って話をしたのは、いつの事だったでしょう。多分、30年余り前のことだったのかも知れません。

彼と出会ったのは、彼が桐朋学園の学生だった頃のことです。専攻のバスーンの他に僕がやっていた「中川バンド」という管楽器のための「オーケストラ・レパートリー」のクラスなどで熱心な生徒の一人でした、その後、新日本フィルハーモニーや、サイトウキネンオーケストラと一緒に仕事をしたこと。特に東京BACH-BANDでは、専門のバスーンではなく、バリトン・サキソフォーンのパートを音楽的に満足させてくれる奏者が見つからず困っていた時に、僕がやりましょうと見事に穴を埋めてくれたこと。兎角、一芸の世界に凝り固まることを以って「素晴らしい」とすることが、当たり前としている日本の音楽界の中では本当に貴重な存在でした。そんな、つれづれの中で話し合ったことが懐しく思い出されます。「楽器ばかり追いかけていては上手くならない。音楽を追いかけるとき、楽器は上手くなっていく。」とか、「Fiddler on the Roof」は「屋根の上のヴァイオリン弾き」と日本語になっているのに、「Sound of Music」はカタカナ語で片付けられている。何故だろうか？」「楽器とは、弾いたり吹いたりするものではなくて、歌うものであるのに」。「音だけなら、人間は自分の身体から、或いは自分の身体を使って色々な音を出すが、音だけでは音響学、科学の世界の話だけの事。音、又は音群がMusicになることとは？」そんな会話が思い出されます。

その後、何年か経って、大作くんから「センセイ、僕は長崎に帰ります。」との電話がありました。その時、「僕は、京都・大阪・東京・New Yorkと、音楽を求めて随分と動き回ったけれど、結局、判ったことは、今、自分の居る場所で、自分で音楽を創る事に集中することが、最も大切なことなのだ。人間が音楽を持っているとゆうことは、そんなことじゃないかなあ、最終的には。長崎でも、君の音楽の花が咲くことを祈っているよ。」そんな事を彼と話した記憶が残っています。

そして、去年の秋、久しぶりに彼の声が電話から聞こえてきました。今、長崎でオーケストラをやっているとの事。「良かったね。やっぱり、音楽を愛し続けているんだ。」と喜ぶ僕に、「センセイ、僕は多分もう長くはないんです。」とのこと、……………。

僕は82才ですが、僕の娘は26才でこの世を去りました。人間には、必ず最初と最後があること。日本政府によれば、僕は長く生き過ぎていることになるが、君は早すぎるなあ。でも、最後のその時まで、音楽を愛し続けてくれよ。僕も、そうするから。」そんなことを話し合ったのですが。

その後、大作くんのお母さんが、小山くんの絶筆となった僕への手紙を送って下さいました。

小山くんが、僕との会話の端々を沢山憶えていてくれたことに驚くと共に、一人の大切な楽友が去ってしまった悲しみは増々大きく成っています。でも、現実には30年余り会っていなかったのですが、彼は常に僕の回りに居たし、今でも、彼がヨーロッパのお土産ですとプレゼントしてくれた髭を生やしたドイツ人らしい伯父さん風に作られたビールのジョッキがこちらを見続けています。

音楽を通じて知り合った小山くん。そんなに遠くない筈の僕の最後の日まで、彼はすぐそこに居続けてくれることでしょう。 合掌

2018年3月10日 神奈川県逗子にて
中川良平

(ファゴット奏者。小山氏、桐朋学園大学時代の恩師。「偲ぶ会」への寄稿から)



左：
小澤征爾氏を囲むサイトウキネンのメンバー
(1991.1)

右：
サイトウキネン 1994年欧州
ツアー時のネームカード
(写真提供：小山涼子様)



～小山大作氏追悼演奏会に寄せて～

私にとって桐朋学園大学の先輩である小山大作氏。しかし在学期間がダブってないこともあって、実は桐朋

時代に学内で会話を交わした記憶がない。どこかでお目にかかったことはあったかもしれないのだが、私の小山氏と会話をした最初の明確な記憶は、その後ずいぶん経って、私が長崎にUターン移住してからである。あれは確か2002年だったと思う。同じく桐朋出身のヴァイオリン弾きの友人を長崎に呼び寄せて演奏会をしたときのこと、それを知った小山氏から突然、「実は俺も長崎に帰ってきとるとさね」と電話があったのである。この時、電話の主がどこの誰であるか、すぐに理解できたということは、やはり桐朋時代どこかで接触があったことは間違いない。そしてそこは同じ長崎から上京して、変態たちが集う(本人たちはそれが普通と思っているが実は…)一風変わった「桐朋」という音楽学校で学んだ者同士、「そりゃ集まるでしょ！」的に、私の馴染みのスナックにご一緒した。実は氏が「南高の先輩」であったこともこの時初めて知ったし、ほかにも様々な話をしたはずなのだが、それよりも何よりも小山氏の呑兵衛ぶりが記憶に残った夜であった(笑)。なかには小山氏のことを「呑兵衛な音楽バカ」呼ばわりする御仁も見受けられたが、それは後輩の私にとっては寧ろ「誉め言葉」である。まあ桐朋にはもっとウンと強力な変態がいっぱいいたので、我ら桐朋出身者にとっては、小山氏の変態度は中の上くらい(?)で可愛いものであった(笑)。そんな変態性にばかり目が行きがちだが、それよりもその「音楽バカ」とも揶揄されるほどの、氏の深い音楽の知識と技は、やはりその「桐朋」で学び、叩き込まれたものである。そしてその桐朋の集大成とも言える「サイトウキネンオーケストラでの経験」、それらを共有することのできる同じ釜の飯を食った「桐朋の仲間」のことを、氏はとても誇りに思っておられたように感じられた。だからこそ「桐朋の後輩」である私のこともその音楽も、すぐに信用してくれたのだと思うし、その後PONのソリストにも指名してくれたのだと思う。その小山氏自身もまた、桐朋の多くの仲間たちから愛され慕われていたであろうことは、氏の旅立ちの時、訃報を知った「桐朋の仲間たち」から、多くの哀悼の意が寄せられていたことから明かである。

小山先輩！先輩とまた共演させていただける機会を失ったことは残念でなりませんし、盃を交わしながら先輩の超マニアックな音楽知識や面白エピソードを生で聞けなくなったことは淋しい限りですが、きっとそちらでも桐朋の同窓生や音楽仲間とともに、大好きなお酒を呑みながらワイワイガヤガヤ、音楽談義に花を咲かせていることでしょう。いつになるかわかりませんが、そちらへ行ったらまた仲間に入れてください。それまではボクも、先輩の誇りである「桐朋」の名を汚さぬよう精進します。今日のPONの演奏会も、先輩が信頼する末廣さんのタクトで、先輩のことを崇拝し、先輩から音楽のイロハを叩き込まれた中心メンバーを核に、先輩に満足してもらえるよう一致団結して全力で演奏する姿を、天国から美味しいお酒でも呑みながら暖かく見守ってあげてください。そしてどうぞ安らかに。

2018年6月13日

林 田 賢

(ピアニスト。第6回・第12回定期、熊本地震復興支援コンサートでPONと共演)



小山さんとの思い出

小山さんとの出会いは、10年程前、主宰している声楽グループでのオペラハイライト公演の室内管弦楽ご協力がきっかけでした。その頃、小山さんは「オペラを振ってみたい」という思いがあられ、私たちはすぐに意気投合しました。演目は「フィガロの結婚」で、序曲のパート譜は直ぐに手に入ったのですが、他は総譜しかなく…。もちろんパート譜を買えたら良かったのですが、予算ギリギリでの公演でしたので、小山酒店の二階で小山さんと数人のメンバーで総譜をコピーしてパートごとに切り貼りした事を思い出されます。

公演は大成功で、お客様からは「こんな近くで本格的なオペラが楽しめるなんて…」と大好評でした。小山さんの呼び掛けでメンバーが集まって下さり、本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。その後は「カルメン」にも取り掛かり、少人数の室内アンサンブルでしたが、フラメンコも入れたり、こちらも大いに盛り上がりました。小山さんはどちらの作品もとても深く研究して下さい、指揮をされている時は一緒に歌われていてとても楽しそうでした。また、その間にモーツァルトオペラをPONで演奏したい！と強く思っていたら、当時話題になったモーツァルトオペラスコア全集(バーレンライター改訂版)を買ったよ！見に来て！と嬉しそうにご報告いただき、遊びに行った時はご自身が小澤氏のもとでオペラ演奏していた時のエピソードや、ヨーロッパでのお話を聞かせて下さいました。どんな小さい事も昨日あったかのようにイキイキとお話されている姿に、「本当に音楽に熱い思いのある方なんだな」と感嘆致しました。

音楽を通して、沢山の思い出をありがとうございました。小山さんの優しい笑顔、いつまでも忘れません。どうぞ安らかに。 合掌

2018年6月13日 村岡 恵理子

(ソプラノ。第13回定期、熊本地震復興支援コンサートでPONと共演)



長崎のみなさん、こんにちは。

ヴァイオリニストの木野雅之と申します。私は生まれこそ東京ですが、父の故郷が熊本県球磨郡湯前町といったこともあり、小山さんの長崎とは同じ九州ということで親しみを感じておりました。

私は5歳から、桐朋学園こどものための音楽教室で勉強、高校より桐朋学園大学付属高校にて学んだわけですが、そこで、先輩である小山大作さんと一緒にオーケストラや室内楽で一緒に勉強しました。当時の桐朋学園というのは、ヴァイオリンでいえば、堀米ゆず子、加藤知子、指揮者で言えば、高関健、大友直人、山下史、またピアノでは、清水和音、岡田博美といったかなりの実力者、今では世界中で活躍している方々が大勢おりました。

そして、その根底にある音楽教育は、サイトウキネンで有名な齋藤秀雄先生からの教えにあり、毎週のオーケストラの授業はたいへん厳しい練習でありました。曲を知らなきゃ駄目なのはもちろんですが、自分のパートだけでなく、全てのパートを網羅していること、そのためみんなスコアを叩き込んで、非常に多くのことを勉強しておりました。中でも管楽器の中で核となっていた小山さんには色々なことを教えて頂きましたが、とくに練習中に、オーケストラで管楽器が間違っただけの音を出したりしたときには、弦楽器の先輩方が「今、間違っただけのわかんなかったか？全員、止め止め！」といった感じで、それこそ全て皆さん知っているという先輩方でした。そして、そんなときの小山さんは、いつも音楽について熱く語っておられ、本当に楽しい時間でした。

日本フィルで毎年長崎に公演に行くんですが、その時にいつも、コンサートにいらしていただいたり、あるいは、長崎で一緒にお酒を飲む時間を作っていただいたりして、それこそ、昔サイトウキネンと一緒に旅した時の話などを語っておられました。非常にその時間は楽しい時間であり、なんだか昔懐かしくも、本当に学生時代に戻ったような、そんな気分でした。

のちに、小山さんが率いる長崎フィルにソリストとして何度も招いていただき、また私の弟子たちに一緒に参加させて頂いて、本当にたいへん良くしていただきました。本当に暖かい方で、そこには彼の名前にもある「大作」、非常に音楽を大きく作って、そして非常に高い水準まで持っていくという、そんなことを非常に感じました。これからも、中原君、高田さん、そして前田さんをはじめ、皆さんによって、そんな小山さんの情熱を絶やすことなく、その火を繋いで発展していく、そしてそのために私も、これからも長崎のほうに足を運びたいと思いますし、ぜひ、天国から大作さんにも聴いて頂きたいというふうに願っております。



2018年2月22日（「偲ぶ会」へのビデオメッセージから）
ヴァイオリニスト 木野雅之
（日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・コンサートマスター。
第5回・第10回・第15回定期演奏会でPONと共演）

指揮者 渡邊一正様より（PON太の「こころの音楽室」のブログに掲載した小山氏の訃報へのメッセージ）

大作さん、一正です。こんな悲しい事があるとは思いませんでした。悲愴のスコアに大作さんの書き込み、今も残っています。大作さんのおかげで指揮の試験を満点取れた事、それを自分の事のように喜んでおられた大作さんの暖かい笑顔。忘れられません。九州交響楽団との長崎公演でお会いしたのが最後になってしまったなんて、昨年九州交響楽団と五島列島にコンサートへ行った際に長崎の街に一時間ほどいました。その時なぜ、大作さんにご連絡しなかったのか、今さらながら悔やまれます。

大好きなお酒とタバコ、そしてファゴットと指揮棒を持ってちょっと先に旅にお出かけになったのだと思っています。本当にありがとうございました。そして、おやすみなさい。 2017年11月18日

ほかにも多くの方からメッセージをお寄せいただきました。ありがとうございます。すべてをご紹介できないのが残念です。

インターネット上、ご自身のブログやSNSに、小山氏のことを書かれている方もいらっしゃいました。一部をご紹介いたします。スマートフォンやPCでご覧ください。なお、ホール客室内での接続はご遠慮ください。

マリンバ奏者 田代佳代子様のブログ



高校の同級生の方



小山大作氏の最後の演奏（第17回定期のアンコール）がYoutubeでご覧になれます。



ご案内

お得です！

定期会員の募集など

■ 定期会員「PON友会」募集中 特典がいろいろ。行けなくなっても損しない

- ☆会費3,000円で、入会后2回の定期演奏会が入場無料。優先入場。
 - ☆当日券窓口で、ご同伴者1名様の入場料を半額にいたします。
 - ☆「お友達もごいっしょに」キャンペーンでお友達も割引料金になるので演奏会に誘いやすくなります。
 - ☆演奏会終了後の指揮者・ソリストを交えてのレセプションへご優待(ご希望の方は事前にお申し込みを)
 - ☆来場できなくなった場合、自動的に先の定期演奏会へ延長します。
 - ☆会報(季刊)による当団関係の音楽情報の提供
 - ☆当団関係者の演奏会への割引券の提供など 色々な特典があります。
 - ☆定期会員・後援会員向け限定発売の過去の演奏会のCDをご購入できます(一部の曲を除く)。
 - ☆「PONプレイバック」聴き逃した演奏会を大型オーディオで聴く会(不定期開催)に参加できます。
- 資料請求・お申込は、アンケート用紙の裏をご利用ください。本日、「第19・20回定期会員」のご入会を当日券デスクで承っております。

ボランティア募集中！

■ 手伝い隊員 募集中 「ちょっと、手伝っちゃおうかな」

オーケストラの舞台裏に興味深々の方は、ぜひお手伝いをお願いいたします。オケには、演奏会当日の仕事のほか、ポスター貼り、チラシ配りと人手の要ることがたくさん。平日や昼間に動ける方、ちょっとお時間を割いていただけませんか。無報酬ですが招待券やグループ割引などご相談に応じます。また、写真・デザイン・アナウンス・録音・録画・Web管理など「技術」や「特技」を活かしたお手伝いの方も募集しています、音は出さないけれど、いっしょにコンサートを作っていく「仲間」になりませんか？ 詳しい資料・申込み書は、当日券デスクに用意しております。

お手伝いいただきたい仕事の内容の例

- ☆ 演奏会前のお手伝い・ポスター貼り・チラシ運搬・チラシ配り・チラシ入れ・広告取り・ロコミ広報
- ☆ 当日のお手伝い・会場準備(設営・チラシ挿み)・チケットもぎり・駐車場誘導・お客様誘導・後片付け

定期演奏会CD頒布

当団の演奏会のライブ録音CDを、後援会員・定期会員の方限定で有料頒布しています。

当団の過去の定期演奏会等の演奏をCD化して頒布(有料)しています。もちろん、生の演奏に勝るものではありません。しかし、過去の名演、もう一度聴きたい、あるいは、聴き逃したという方…に朗報です。記録用の音源から作製しますので、一部、お聞き辛いところはお許しください。また、著作権等の制限により、CD化できない演奏もありますのでご了解ください。何通りかの「お薦めシリーズ」をご用意いたしました。また、会員様のセレクトによる「カスタマイズ版」も制作を承ります。詳しくは、事務局にお問合わせください。会員以外でCDをご希望の方は、定期会員または後援会へのご入会をお願い致します。

■ メール会員募集中 「とにかく、次の演奏会を知らせてよ！」という方におすすめ

- ☆当団および関係者の演奏会や割引券の情報などを、メールにてお知らせします。
- ☆「メール会員」と書いてメールを下記へ送信してください。または、右のQRコードから
ponagasaki2006-mail@yahoo.co.jp 空メールを送ってください。



YAMAHA Grand Piano
切れの良い音の立ち上がり
煌めきのある音色
粒立ちの良い和声感
C3X ￥2,200,000-(税抜)
(株)絃洋会楽器店
長崎市浜町7-13 TEL 095-821-2326
<http://genyo-kai.co.jp/>



【心療内科、精神科】
ご予約・お問い合わせ
095-881-7339

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○		○	

西彼杵郡時津町久留里郷1446
院長 南 秀雄

後援会「PON倶楽部」会員 (敬称略・順不同、H30.5現在)

- 後援会長 松本純隆 (医療法人厚生会理事長)
- 特別会員 (株)文明堂総本店 (医)厚生会 道ノ尾病院 (医)清潮会 三和中央病院
(宗)妙行寺 MHPSCコントロールシステムズ(株)長崎事業部 (医)祥仁会 西諫早病院
- 法人会員 (株)メモリード (有)チューケングループ長崎医学中央検査室
(医)橘会 本多眼科 (有)本多コンタクトレンズ
- 個人会員 木高亘志 小久保政孝 小林智子 道辻俊一郎 ほか匿名の方々
- 賛助会員 音楽喫茶わたべ 宝スポーツ 徳田整骨院 (株)パールドライ 古川鍼灸治療院 レストランかじ
(有)吉岡印章堂 古書店夢屋 炭火やきとり味彩 ゆかり整骨院 吉見皮膚科 吉見耳鼻咽喉科
ファミリーシューズやまもと 宗整骨院 絃洋会楽器店 昭光電機 菅原泰道歯科医院

後援会「PON倶楽部」会員募集中 物心両面からサポートして下さる後援会員を募集中です。

個人/法人/特別法人会員には、一口2名様の優先座席チケット、優先入場、指揮者リハーサル・終演後のレセプション(実費)参加、「PONプレイバック」(過去の演奏会をオーディオで聴く集い)参加、会員向け限定の演奏会CDの頒布、プログラム冊子・当団ホームページへの会員名の掲載やリンク、会報による音楽情報の提供などの特典があります。詳しくは資料をご請求ください。

◇個人会員(一口1万円/年) ◇特別法人会員(一口5万円/年) ◇法人会員(一口2万円/年)

◇賛助会員(当団の活動へのご協力): 口数や内容に応じた特典があります。

謝 辞

公演にあたりご協力をいただいた、次の個人・団体・企業の方々に厚くお礼申し上げます。

【後援】長崎県、長崎市、時津町、長崎新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、エフエム長崎、長崎ケーブルメディア、長崎市民エフエム放送、長崎県音楽連盟、西そのぎ商工会 【広告】イズター・バイオリン、江良内科医院、おおみや小児科、落内科医院、絃洋会楽器店、サザンこころのクリニック、三和中央病院、シャコンヌ、すがさきクリニック、虹が丘病院、本多眼科、三浦産婦人科、三島内科医院、みちクリニック、道ノ尾病院、ミュージカル「赤い版の記憶 天主堂物語」実行委員会 【チケットング】浜屋プレイガイド、絃洋会楽器店、くさの書店西友店・チトセピア店、チケットぴあ 【ポスター・チラシ】長崎市ふれあい掲示板、とぎつカナルーホール、チトセピアホール、長崎ブリックホール、伊勢屋木下酒店、ふくや餅饅頭舗、FAN美容室、江良内科医院、山下内科呼吸器科、浦上駅前薬局、みやむら女性のクリニック、原田キーコーナー、原田医院、くわつか医院、リップソウル美容室、つむぎ、山田石油、胃腸科もりクリニック、ゲームランド松山、ユニックス タケヤ、さくら整体、橋口電機、さいのお耳鼻咽喉科、オリヴ薬局、堀皮ふ科医院 堀皮膚科医院、東歯科医院、竹林 大橋店、長崎ラッキーボール、松尾まこと歯科、産婦人科宮村医院。ごんどう小児科、三幸鍼灸療院、扇町歯科、川原整骨院、中村仁昭歯科、あきよし都美内科クリニック、フラワーメイト、勝山薬局住吉店、山本眼科医院、松永整骨院、タージ住吉店、さいかわ薬局、いけだ歯科、なかぞの整骨鍼灸マッサージ院、くすくす中園店、ガートル・清月堂菓子舗、諸熊内科医院、ちづる美容室、なかしまストア、メゾン・ド・レボス、住吉歯科クリニック、武田内科医院、山菜屋、田中歯科、きのしたこどもクリニック、Aプライス長崎住吉、江上皮膚科医院、藤瀬クリニック、山口ふとん本店、宮口歯科医院、やまさき内科医院、タン・タンドル、どいむ薬局、西浦上薬局、さくら整骨院、小泉酒店、小山酒店、長崎大学学生支援課、長崎大学管弦楽団、焼きたてのパン サンマルコ、そうごう薬局長崎昭和町店、ヘアーステージBijin、村上歯科医院、古市外科胃腸科医院、緑が丘地区ふれあいセンター、古川鍼灸治療院、佐藤整骨院、宮村眼科、本原歯科医院、本原自動車学校、平田クリニック、寿福、すずき矯正歯科、山田内科、たばた整骨院、おおや写真館、ベスト電器フレンドショップ住吉店、なごみ整骨院、ネットヨタ長崎、住吉歯科クリニック、わかすぎ整骨院、荒谷内科医院、おぐし内科・眼科、よこ整骨院、長崎みどり病院、十文字はり灸院、みすな獣医科病院、ぬくもりLife、ヘアーハウス ガロ、わたなべ耳鼻咽喉科クリニック、橋本消火器、浜口食品、山根内科胃腸科医院、宝町薬局、南整骨院、銭座地区コミュニティセンター、石野皮膚科、フラワーショップいで、竹二公民館、ながすえ小児科医院、梁川飯店、竹の久保調剤薬局、山口内科・循環器科、島屋饅頭店、キティー薬局、スマイル・ペーカリー、整骨院クローバー、理容院アビロード、城栄町薬局、美容院KAMIKIRIYA SINCE1988、田舎屋、やきとり味門、十善会病院、写真のなめし、いのうえ整骨院、おおや写真館、村松小学校こすもすクラブ、LEGO、時津まじゅう中村、(有)ロフト、k+, くるりのパン、PAN・OAKA・パン、琴の浦荘、緑風、はた動物病院、永武堂、恵美須町病院、ながさきハートクリニック、長崎・Kホテル、稲佐山観光ホテル、小林病院、とりやす精肉店、手作り弁当にち蘭、井手外科医院、まつら屋、坂本生花店、松尾酒店、竹の久保調剤薬局元船店、ヘアーサロン・アレンジ、江戸びし、宮川外科医院、三瀬商店、木下内科医院、ふくだこどもクリニック、ながた大腸肛門クリニック、モイスティヌ長崎サロン、浅野印房、高村内科、野口陶器店、高野屋からすみ、一ノ瀬商店、貝賀鮮魚店、博多屋武道具店、鈴文商店、亀屋饅頭、サイノオ脳神経外科、山ぐち仕出し店、長崎ハンバーグのだ屋、伊藤公明美容室、うどん川瀬図書館前店、宮崎鮮魚店、美酒唐露 竹、島原ふるさと館、つねだ形成外科、たあbcナカ・デントタル・クリニック、肉の岩永、長崎リハビリテーション病院、本田こんぶ店、おしやれハウスかつもと、理容はまもと、酒井商店、みやこ紙工所、翔成不動産、富貴薬局、初美屋楽器店、平野楽器店、原楽器店、福田医院、フォトスタジオきら美、不二美容室、野口洋服店、馬場整骨院、吉原クリーニング店、はり工房、青木商店、山口時計店、餃子菜館万徳、長崎県酒販、ながた青果、中井漬物店、サン調剤薬局、調剤薬局もり、井口矯正歯科、すがさきクリニック デイケア、まつなが形成外科皮膚科、たじま内科、のびる理容、サイノオ耳鼻咽喉科医院、まさき内科呼吸器科クリニック、塚本歯科、野菜店Ardent、こむた青果、いりえ花店、たかお内科クリニック、松谷薬局、アリラン亭、一ノ瀬商事、森つとむ内科、川端ガレージ、高橋たばこ店、立ち呑み処 朋、3Qカット、酒の吉田屋、フカダペーカリー、フルーツすぎおか、寿々屋、松元クリニック、たなかデンタルオフィス、大久保医院、出島薬局、インターネットカフェ・ヤマコム、せとぐち外科クリニック、西じま内科クリニック、アイス・ヘアワークス、出島亭、絵里奈、出島リカーズ、出嶋阿蘭陀屋、出島病院、海岸通り薬局、木高歯科医院、長崎一番番町店、荒木紙店、千可良精肉店、コクミン薬局、安中外科脳神経外科ほか多数 【デザイン・印刷】プライム・ソシオ、片山禎久、昭英印刷 【フロント・駐車場】櫻田眞由美、長大管弦楽団・三和中央病院ほか 【録音・録画等】田頭健二、長崎市民エフエム放送ほか 【ロビーコンサート】鈴木美沙子ほか 【楽譜】Petrucchi Music Libraryほか 【楽器】長崎市立西浦上小学校ほか 【練習会場】みちのおホール、とぎつカナルーホール 【広報ほか】文化庁九州・沖縄から文化力プロジェクト、コンサートスクエア、オケ専♪、長崎市民エフエム放送「PON太のこころの音楽室」ほか 【広報特別ご協力】(株)パールドライ (敬称略・順不同、重複は一部省略)

お名前への漏れもあるかと存じますが何卒ご容赦ください。この他にも多くの方々からご支援、ご協力を頂きました。ありがとうございます。

NHKでシャコンヌ製楽器が極めて「伝説の名器」に近い事が紹介されました

「クラシック音楽館」 ～バイオリン 500年の物語～

平成29年7月23日(日) 放送 21:00～23:00・NHK Eテレ(教育)

名曲とともにバイオリンの500年の歴史をたどりつつ、楽器を科学していく内容でした。伝説の名器はどのようにして作られたのか、そのカギを握る職人として、シャコンヌ会長の窪田が長い時間出演しました。(10年以上に渡るNHKによる取材と分析により素晴らしい番組ができました。)

この番組において、まずシャコンヌの修復技術が音響学的に正しいという事が確認できました。ニスも解明される5年程前から同じものを使用していました。そしてストラディヴァリにしかない音響特性が「シャコンヌ製ストラディヴァリ再現楽器(新作CHACONNE)」にもあり、また他のいくつかの特性も同様で「同じ楽器から取ったデータかのように一致していて信じられない」とNHKプロジェクトチームの牧教授(音響学)が仰っていました。

これまでも様々な観点や場所(響き・遠鳴り・音色・倍音・ニスの質感・国内外の展示会や国際コンクール等)においてストラディヴァリと同じだと評価されてきましたが、今回音響特性においてもそれが示されました。

なおこのノウハウは全ての楽器の仕入れや調整に活かしておりますので、多くの方々に対して、そして楽器業界・クラシック業界にとっても明るいニュースになったと思います。ちなみにすでに新作CHACONNEをお使い頂いている方が九州・中国地方でも多くいらっしゃいます。皆様もぜひお試しください。

※放送をお見逃しの方、小倉店へどうぞ。店内で再生しています。楽器は店や展示会、教室等でお試し頂けます。



シャコンヌ 窪田とエーネス氏
(シャコンヌ名古屋店にて)

お問い合わせ
シャコンヌ九州小倉店

TEL 093-531-2672

営業 10時～18時半

日・月曜定休

<http://www.chaconne.info>

北九州市小倉北区

京町4-5-27-5階

CHACONNE
DEALERS OF FINE VIOLINS

内科・循環器科

江 良 医 院

院長 江 良 修

長崎住吉町5-15

TEL 095-844-0415

FAX 095-843-8192

医療法人 落内科医院

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	休
14:00～18:00	○	○	休	○	○	休	休

〒850-0841 長崎市銅座町3-24 3階

「フジオンホテル」前

TEL & FAX 095(824)2066

音楽はこころの友。ある時はつらい気持ちに寄り添い、疲れた心を癒し、またある時は共に喜び、勇気づけてくれます。

PON太の《こころの音楽室》…

… PONの演奏がFMで聴けます！

長崎市民エフエム放送 76.7MHz

毎週月曜夜8時、長崎市民エフエム放送 76.7 MHz で、PONの演奏会の録音を放送しています。(火曜15時頃に再放送) 受信エリアは長崎市中心部のみ。エリア外からは、インターネットでの生中継でお聴きください (<http://twitcasting.tv/c:nagasakifm767>)

次回 第19回定期演奏会 最新の情報は 当団Webサイトで

とぎつかナリーホール 2019年4月下旬で計画中

ドヴォルザーク/交響曲第9番ホ短調「新世界より」ほか

フィルハーモニックオーケストラ・長崎

Fax 095-898-7588 E-mail info_philnag@yahoo.co.jp URL <http://PONagasaki.com/>